

創造

JA いけだ
CREATION



CONTENTS

- * 令和7年の新春を迎えて
- * 令和7年の年頭にあたり
- * R6女性部道外研修旅行
- * JA十勝池田町役員視察研修
- * 21NEWSアラカルト
- * JAコネクト
- * 畜産部通信
- * フルーツパラダイス
- * 石田邦雄の農業拾い読み
- * 月間行事予定
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2025.

JANUARY

No.181



令和7年の新春を迎えて

十勝池田町農業協同組合

代表理事組合長 鈴木 雅 博

組合員の皆様には、令和7年の希望に満ちた新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。また日頃より農協事業にご理解とご協力を戴いております事に衷心より御礼申し上げます。

今年は、食糧安全保障の確立を掲げ四半世紀ぶりに改正された「食糧・農業・農村基本法」の見直し元年となります。生産現場における原材料価格の高騰や輸送問題等の影響を価格に転嫁するのが難しい状況下では、食糧安全保障を反映した「直接支払制度を手厚くする再整備」が必要です。また、農家が技術を駆使して収量を増やすと、見直し減額される品代数量払いでは努力が報われず、この制度の矛盾点の改善が必要であります。農家戸数の急激な減少対策には農業者の所得増額が必要であり、魅力ある産業となる事です。今年から5年間は新制度が具体化される大切な年であります。

インバウンド需要が増加傾向にある一方で、国内では、賃上げ等による所得増が消費者心理に与える影響は不透明な状況です。生産から消費まで各段階を通じて合理的な費用を考慮した価格政策が必要であり、消費者の理解の下で価格形成が大切であります。昨年10月の衆議員解散による選挙で現職の農水大臣が落選し、江藤議員が2度目の農水大臣となりました。農政の経験豊かな大臣に農政対策の手腕を期待するところであります。

昨年を振り返りますと春先から好天に恵まれましたが、降水量が平年の6割程度と早魃傾向であり、地域や作物品種間の生育差はありながら平年より生育が早い年になりました。基幹作物として営農年度最初の収穫物である小麦は平年以上の収量と品質でありました。刈取開始が7月16日、終了は22日と過去最も早い刈取終了であり、2年連続で以前より10日以上早い収穫となりました。8月以降も高温の影響はありましたが、組合員各位の適切な管理作業により平年以上の収穫を確保出来ました。飼料作物も高温早魃の影響を受けながら多収穫を確保出来ました。前年の生乳生産抑制と肉牛価格の不安が続く時ですが、良質な自給飼料を確保出来た事は経営の安定対策に重要な事です。

地球規模の気候変動による温暖化は、十勝、池田町においても真夏日、猛暑日の日数が確実に増えております。長年培われた営農技術に近年の高温対策への工夫は必要不可欠な農業技術であります。もちろん高温適応品種の導入も必要です。高温早魃と災害級の大雨等々も発生し「水の管理」がこれからの農業には重要なポイントとなる事でしょう。排水対策基盤整備事業、水資源を確保した灌水設備事業による水の管理は地域農業の持続的発展に不可欠であります。

農協事業では振興計画に沿い、引き続き役職員一丸となって取り組んでまいります。多様な課題が山積する中、組合員各位には農協事業への積極的参加とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

本年が穏やかな良い年になり組合員ご家族皆様のご健勝であります事をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間で農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的に実行するとともに、今年3月に食料・農業・農村基本計画を策定するべく引き続き検討を進めております。

JAグループ北海道としては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えております。

また、昨年は第31回JA北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。

今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一丸となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組んでいかなければなりません。

さらに、消費者の皆様には、JAグループ北海道統一の情報発信のフレーズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAグループが提唱する「国消国産」の認知を広めてまいりましょう。

結びになりますが、本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて、巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和6年度 女性部道外研修旅行

12月1日～4日の3泊4日で伊勢関西方面へ道外研修旅行に行っておりまして！
今年度は農協観光に依頼し、旅行の行程を組んでいただきました。

1日目は朝7時に池田農協を出発し、三重県のカメヤマローソクタウンへ向かいました。5月にオープンしたカメヤマローソクタウンストアは、ローソクや線香など神仏用商品の製造・販売から、キャンドルやインテリア雑貨の企画・製造・輸入・販売まで、さまざまな事業を展開する施設です。非日常の空間に圧倒されながら、ここでしか買えないオリジナルグッズやたくさんの商品に目を輝かせながらお買い物を楽しみました♪その後、鳥羽湾を一望できる「鳥羽シーサイドホテル」に移動し、1日目を終えました。

1日目



2日目

2日目は、まず初めに伊勢神宮へ行きました。外宮の火除橋を渡り進んでいくと今まで感じたことのない空気感と迫力を感じました。衣食住をはじめ産業の守り神でもある「豊受大御神」でお参りし、続いて内宮へ。内宮では綺麗な紅葉を見ながらお参りをし、楽しみにしていたおはらい町・おかげ横丁へ行きました。食べ歩きができる多くのお店が並んでおり昼食前に行くのは畏でした（笑）。お買い物と食べ歩きをし、芸能人のおぎやはぎさんにも遭遇してとても楽しい時間になったと思います。その後、鳥羽一番街にて昼食をとり、飼育種類数日本一の鳥羽水族館へ行きました。アシカショーやセイウチショーでは普段見ることでできない動物たちの動きや技を間近で見ることができとても楽しかったです。



3日目



4日目

4日目は、嵐山に行きました。例年11月上旬までに見頃を迎える紅葉ですが、今年は秋の気温が高かったこともあり平年より遅く色づきがあったそうで1番きれいな時期に見に行くことができました(▽)/

嵐山も食べ歩きが有名なためたくさんのお店が並んでいました。修学旅行生と外国人に囲まれながら美味しいものを食べ、家族にお土産を買うなど最後にとっても充実した一日を過ごすことができたと思います。嵐山を後にして、大阪国際空港へと向かい4日間の道外研修旅行を終えました。

(記事・営農部営農企画課 長谷川理子)



JA十勝池田町役員視察研修



今年度の役員研修は11月21日から25日の4泊5日の日程でインドネシアでの海外視察研修となりました。インドネシア（首都ジャカルタ）は大小17,000の島々からなる国で赤道付近に位置しており、日本との時差は2時間です。年間を通して気温差はあまりなく、昼は32～33℃、夜は24～25℃くらいで、11月頃から雨季に入ります。滞在中も短時間ではありますが、毎日のように雷雨となりました。

JETROジャカルタ事務所

初日は移動だけで1日が終わり、2日目より研修がスタート。まずはJETROジャカルタ事務所にて、シニアマネージャーの中村一平氏よりインドネシアの経済・文化ならびに日系企業の概況について詳しく説明していただきました。

インドネシアの国土は日本の約5倍、人口は2.8億人です。平均年齢は30.1歳と若く、平均寿命は71歳、人口分布は釣鐘型で若い世代が多い理想型で、経済的にも将来性が見込まれています。首都ジャカルタの人口は1,000万人を超えており、今後も増加傾向で民族や文化、宗教は多種多様だそうです。また、石油、鉱物など天然資源が豊富で、輸出入については51カ月連続の貿易黒字となり、ASEAN10カ国でGDPは断トツの1位。東南アジア最大の経済規模となっています。

インドネシアへの投資額は中国がトップで、日本は3～4位に下降しているそうです。日本は自動車関連への投資がメインで、その他インフラ開発関連・食品やレストラン関連も増加しているとのこと。工業団地では自動車関連メーカーがジャカルタで674社、西ジャワで691社進出しています。日経企業へのヒアリングでは、70%以上が黒字経営と回答しており、進出したメリットとして経済の成長性、人件費が安い、市場規模の拡大性等が挙げられ、今後も進出を検討している企業は多いと思われます。しかしながら、政府への申請手続きの煩雑さや引き抜きなど管理職の人件費が高騰しているデメリットもあるようです。また、日本からの輸出は輸入規制が非常に厳しく、枠の設定やGAP、分析証明書等の提出など容易ではないとの事でした。

市場・スーパーマーケット

昼食後、市内の市場やスーパーマーケットを視察、市場は午後の暑い時間帯のせいか客足はまばらでした。市場内は小さな店舗が多数並んでおり、様々な種類の野菜や果物が山積になっていました。そのほか、特産のコーヒーや日用雑貨の店舗も多数入っているようでした。

スーパーマーケットでは、日本のスーパーと似たような配置や陳列になっていましたが、エリアごとに大勢の店員が働いていて活気がありました。我々も現地通貨のルピアを初めて使用し、飲み物やお土産等を購入しました。表示価格の数字から2ケタ削除すると大体日本価格となり、消費税も無くスムーズな買い物が出来たと思います。

なお、日本からの輸入品はお菓子類を見かけましたが、およそ500円くらいだったと思います。また、少量ではありますが、韓国経由で和牛も販売していました。



Yutaka教育センター

3日目は、札幌に本社がある外国人技能実習生の受け入れ管理団体株式会社ヒューマライズ代表取締役社長斎藤龍治氏の案内により、バスで1時間半くらいのカラワン地区にある技能実習生の送り出し機関Y u t a k a教育センターに向かいました。移動中、斎藤氏よりヒューマライズの事業内容や、インドネシアの平均月収は3万円で、現在日本への実習生の主流はインドネシアになっていること、今後は月収1.2万円と安く政情も不安なミャンマーの若い世代が主流になると考えられていることなどを説明して下さいました。

現地に到着すると約20名の生徒による歓迎の挨拶を受け、インドネシアの伝統楽器であるアンクルン（竹から作られた打楽器）でキロロの「未来へ」を歌とともに披露してくれました。私たち役員も簡単なレクチャーを受け、アンクルンを持って一緒に演奏し楽しい出会いのひと時を過ごしました。



Y u t a k a教育センターは、インドネシアの就職率の低い若者世代のため日本語や日本の文化等の教育を目的とし、日系企業や日本への技能実習生の送り出し機関として2017年に設立され、現在はインドネシア国内5カ所で学校を運営されています。

代表取締役社長のルディルスマナルノさんも20年ほど前に日本で技能実習の経験があるそうで、学校の教師陣も日本での技能実習生や日系企業での勤務経験があり、真剣に生徒達を育成されていました。

現在この学校では150名の生徒を受け入れ、日本語の他に介護、縫製、食品、農業などコース別の実習を行い、日本での仕事や生活に困らない体制を整えているとの事でした。なお、費用は授業料や食費を含めて1人当たり日本円で35万円程度で、日本



で働きながら返済できる仕組みもあるそうです。授業の様子を見学させてもらい、若い生徒さんが真面目に介護や縫製等の実習に取り組んでいることが伝わってきました。

午後からは、町のはずれにあるY u t a k a農園（65ha）に視察へ向かいました。この農場は農業実習生用に設置しており、トラクターや作業機械の操作、除草作業を体験してもらうための農場ですが、将来的には実験農場として軌道に乗せたいとの事でした。広い農場ではあるものの、収穫物の販売契約が出来ないと作物を栽培できないようです。圃場では、日本の農業分野への技能実習が決まっている生徒が除草やプラウを付けてトラクター操作の実習を行っていました。

4日目（インドネシア最終日）で主な研修は終了し、午前中はショッピングモールでゆっくりとお土産等の買い物をして、その後ジャカルタ歴史博物館そばの広場の一角にあるハンバーガーの有名なお店で昼食、しばし各々自由に広場周辺を散策した後、空港へ移動、その後また1日かけて池田へと皆、体調を崩すことなく無事に帰って来ました。

今回の視察研修では、インドネシアから技能実習生や特定技能の人材を日本へ送り出す管理団体を1日かけて視察させていただきました。少子高齢化で人口減少が進む日本においては必要不可欠な人材であり、既に50万人の方が幅広い分野で就労しています。今後も一次産業の現場はもちろん、介護等でもより一層の就労が進み、近い将来私達の身近な存在になるかもしれません。

昨年まで10年間技能実習生を雇用し接してきた経験から、あらためて日本で働くために一生懸命日本語を勉強し実習している生徒を見て、できれば全員が希望通りに日本で働いて欲しいと思いました。



気候も風土、文化も全く違う環境から日本に来る実習生には我々も優しく接し、困り事がある時には早めにケアしてあげることが重要です。どんなハラスメントでも絶対NG。自分の子供のような気持ちで終接するのがベストだと思いました。以上、個人的な思いも含めて視察研修報告とさせていただきます。

（記事・監事 赤松明彦）

信用部

貯蓄のすすめ 初貯金



今年の信用窓口業務は1月6日から仕事始めとなります。例年より少し遅い営業開始となりますが本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ご来所いただいた方には日頃の感謝をこめ、福を呼ぶ「福鈴」を差し上げます。数に限りがございますのでご希望される方はお早めにお越しいただくようお願い申し上げます。

「福鈴」は、根付鈴、宝来鈴とも呼ばれ、江戸時代元禄期ごろより印籠、巾着、提物等の緒の根元につけ、粋なアクセサリとして愛用されておりました。また御身を守る、お宝を呼ぶという縁起物で、本年はいかにも縁起がよさそうなかわいらしい「へび」がデザインされており、小さな鈴の音が大きな福を呼びそつです。

(記事・信用部信用課 課長 山久保栄治)

管理部

十勝池田町農協友の会
親睦旅行

農協友の会(宮前松春会長)は11月11日から3泊4日、会員8名参加のもと、伊勢・南紀方面への親睦旅行を実施しました。

初日は飛行機を乗り継ぎ、三重県鳥羽市の宿に到着したのは18時と大変お疲れでしたが、地元料理を楽しんだ後は温泉につかり旅の疲れを癒しました。

2日目は「夫婦岩」から始まり、「伊勢神宮」・「鬼ヶ城」・「熊野速玉大社」といった名所を観光。「熊野速玉大社」ではタレントの照英さんがロケをしており、有名人に遭遇する嬉しい出来事もありました。3日目は「熊野那智大社」や「潮岬観光タワー」を訪れ、紀伊半島の名勝「三段壁洞窟」では大迫力の波しぶきを体験。最終日は紀州の特産品を扱う「とれとれ市場」にて、梅干しやみかん等ご家族やご友人達へのお買い物を楽しんだ後、池田への帰路につきました。

全行程で事故無く天候にも恵まれ、親睦を更に深めた思い出深い旅行となりました。参加された皆様ありがとうございました。

(記事・管理部融資審査課 課長 高雄紀)



伊勢神宮鳥居前にて

第31回 JA北海道大会

11月20日、札幌市において、第31回 JA北海道大会が開催され、道内JA女性部・青年部代表、JA役職員約3,000名（会場2,000名、オンライン1,000名）が出席しました。

大会では、将来ビジョンとして「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」

～ひとを育み、ひとと歩む～を掲げ、将来ビジョン実現のため三つの議案が採択されました。

議案第1号 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立

議案第2号 JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立

議案第3号 農業・食・JAへの理解醸成 AGRI ACTION!

目標年度は令和12年で実践期間を6年間としており、令和9年度に決議事項等の中間見直しを行う予定です。

当組合としては、8月開催の地区懇談会や女性部、青年部の皆様より議案や基本目標、重点取組事項などに対してご意見を頂戴し、理事会にて協議を深め、組織討議結果を大会実行委員会へ提出しております。

JAグループ北海道の将来ビジョン実現のため、当組合においても事業方針、事業計画に反映させ組合員とともに推進を図って参ります。

大会開催前には、「新たな食料・農業・農村基本法における北海道農業の目指すべき方向性」と題し、東京農業大学総合研究所特命教授で、元農水省事務次官の末松広行氏を講師に迎え記念講演が行われました。

大会開催後には、来年夏の参院選でJAグループ組織内候補となっている東野ひでき氏を励ます会が開催されました。



第31回JA北海道大会の議案はこちらのQRコードから！→



（記事・営農部 部長 新沼二郎）

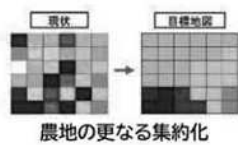
5. 議案構成



将来ビジョン

「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」

～ひとを育み、ひとと歩む～



農地の確保・適正利用、安定生産と環境負荷低減の両立、
農業所得の安定的な確保

議案第1号

食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立

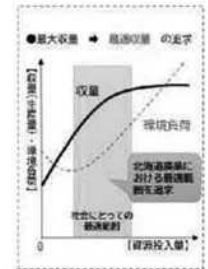
基本目標

- ① 農地の確保と適正利用の強化による農業生産の展開
- ② 需要が期待される食料・自給飼料等の安定生産・供給と農業における環境負荷低減の両立
- ③ 食料供給基地を担うにふさわしい農業所得の安定確保
- ④ 組合員の意思結集による農政運動の展開強化

重点取組事項

農業経営をサポート

農業・食への理解醸成



安定生産と環境負荷低減の両立

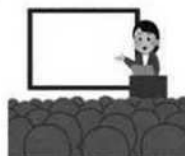
議案第2号

J Aの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立

基本目標

- ① 協同組合理念の次世代への継承
- ② 持続可能なJA経営基盤の確立に向けた経営管理・経営統制の構築
- ③ デジタル技術を活用した業務の効率化・生産性向上の追求
- ④ 事業継続に必要な人材の確保と定着化
- ⑤ 連合会の横断的な事業展開

重点取組事項



JAへの理解醸成

議案第3号

農業・食・JAへの理解醸成

AGRIACTION!
HOKKAIDO

基本目標

- ① アグリアクションによる農業・食・JAへの理解醸成
- ② 食農教育の強化・充実による農業・食への理解醸成
- ③ 地域貢献活動の実践によるJAへの理解醸成

重点取組事項



協同組合ネット北海道

農産部

十勝池田町フェアが 開催されました in みやぎ生協



12月7日にみやぎ生協にて、十勝池田町フェアの販売応援に行ってきました。乾燥豆のカップ盛りを主に販売しました。当日の朝は雪が降り客足は例年より鈍かったもの

の、「毎年楽しみにしている」と言っていたお客様の声や、金時豆の試食をしたお客様から「おいしいので、自分で作ってみる」といったお声があり、ご盛況いただきました。アジア料理を営む外国籍の方からは「ここで買う豆は世界で一番おいしい」と好評いただきました。

また、店頭PR販売だけでなく、仙台あおば青果㈱の取引先訪問も併せて実施し、市場の様子や今年の市況について説明をいただきました。

(記事・農産部農産課 山岸 央)



女性部

JA北海道女性大会・ 北海道家の光大会

11月7日～8日、札幌にて「令和6年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会」が開催されました。400名近くのJA女性部メンバーが集まり、1日目は家の光記事活用体験発表や研修会、全体懇親会を行いました。全体懇親会では、東野ひできさんが登場し歌を披露！とても楽しく盛り上がった1日目となりました。

2日目には、「農業ガールズコレクションin北海道」にて木村洋二さんを司会に、道内各地域の特産品や加工品、装飾品などを紹介し多くの道民に対して北海道農業のPRを行いました。



(記事・営農部営農企画課 長谷川理子)

フレッシュミズ

フレッシュミズ 交流集会！

11月21日、農協連ビルにて「令和6年度」JA十勝地区女性協フレッシュミズ交流集会」が開催されました。今年度は「チーム対抗レクリエーション大会」と題して傘玉入れや何でもリレー、お絵描き選手権、新聞紙タワーを行いました。お絵描き選手権では、守内ちひろさん（豊田）が十勝フレッシュミズの中で一番の画伯に選ばれ、池田率いる青チームも見事優勝し好成績となりました！



最後には、JA十勝地区女性協議会フレッシュミズ部会の副会長市川好美さん（昭栄）の閉会挨拶にて終了いたしました。



（記事・営農部営農企画課 長谷川理子）

女性部

冬季レクリエーション の開催！

12月9日、北部コミセンにて女性部の冬季レクリエーションを開催いたしました。

今年度は「さくらほりきり」というカタログの手作りキットを使用し、已年の三連タペストリーやシマエナガの三連タペストリーなど押絵の作成を行いました。途中お昼休憩を挟み、皆さんでお話をしながら細かな作業を楽しく丁寧に進めました！

（記事・営農部営農企画課 長谷川理子）



女性部

JA十勝地区女性協議会
研修会の開催!

12月10日～11日の2日間にわたり幕別グランヴィリオホテルにてJA十勝地区女性協議会研修会が開催されました。1日目は講師に渡貫淳子氏をお招きし、「女性南極料理隊員が教える! “極限の栄養管理”」と題して研修会が行われ、2日目には避難所運営ゲーム『D・o・はぐ』が行われ



ました。特に1日目の研修は、普段生活しているだけでは知り得なかった内容と「食の大切さ」がより深く理解でき、とても勉強になりました。



(記事・営農部営農企画課 長谷川理子)

青年部

第49回
JA十勝青年部大会

11月25日にホテル日航ノースランドにて、第49回JA十勝青年部大会が開催され、当青年部からは15名の部員が参加しました。

JA青年部活動実績発表大会では、陸別町・士幌町・木野・帯広大正・幕別町・豊頃町の

6単組による発表があり、豊頃町が最優秀賞を受賞しました。また、30秒CMでも豊頃町が最優秀賞を受賞し、ダブル最優秀賞受賞となりました。

基調講演では、「十勝の農業から魅力ある未来へ」というテーマで、一般社団法人北海道プロデュース代表理事の中村真也氏による講演が行われました。バックカastingでありたい姿・あるべき姿を考え、ビジョンマップを用い可視化していこうというお話や、実際にそのビジョンマップから生まれた事例紹介をしていただきました。

閉会後は、400名近い盟友が集まり、懇親会、アームレスリング大会が行われました。アームレスリング大会では多田和志さんが池田町青年部を代表して出場しました。初戦シードとなり2回戦からの登場でしたが、惜しくも敗退してしまいました。

十勝大会への参加は私自身初めてで、他単組の青年部活動の様子を知れたり、同級生との再会など、有意義な時間となりました。

(記事・青年部 会計 赤松大輔)



青年部

第73回 全道 JA青年部大会

12月5日～6日に札幌パークホテルにて第73回全道JA青年部大会が開催され、全道から約800名の盟友が参加しました。

青年の主張大会、活動実績発表大会では、各地区の選ばれた代表者が発表をしました。十勝地区からは豊頃町青年部が活動実績発表大会の代表として発表しました。どれも素晴らしい発表で、青年部活動や農業に対する熱意を感じました。夜に行われた懇親会では、アームレスリング大会や純農Boyオーディション等色々なイベントがあり、とても熱狂していました。

私自身全道大会には初めて参加しましたが、部員たちの青年部活動に対する情熱や意識の高さにとても刺激を受けました。この経験を活かしこれからの活動に取り組んでいきたいと思います。

(記事・青年部 多田和志)



青年部

青年部 冬期研修会

12月10日に農協の大会議室にて冬期研修を行いました。池田町農民同盟事務局長の前原氏、営農部長の新沼氏、農産部農産課の高田氏に講師を依頼し、農民同盟の歴史、組

勘と営農貯金、試験圃場結果について講義をしていただきました。

農民同盟では、過去の出来事や流れについて説明していただきました。組勘と営農貯金では、歴史や課題、仕組みについてお話いただきました。これからの営農にとっても役立つ内容だったと思います。

福白金時の品種試験結果については、福白金時という品種を試験しましたが、植え付け時期によって大幅な生育の違いを感じました。

夜は忘年会を帯広の炉端とおでん呼炉凧来で行い交流を深めました。大変だった1年を糧とし、次年度への活力となりました。

(記事・青年部 小松田智史)



組合員の皆様へ

3月より「JAコネクト」
本運用が始まります



⊗ **JAコネクトとは、組合員とJAがスマートフォンを使って情報交換をする新しいアプリです。**



FAX文書受信

・FAX文書がスマホにも届きます。アプリを開けばその場で確認ができます。



とりまとめ機能

・会議の出欠や災害時の安否確認等、JAからの様々なとりまとめに回答ができます。



会話機能

・組合員と職員の間で会話機能です。グループを作成して多人数で会話ができます。

これらの機能すべてがJAコネクトアプリで！

⊗ **登録方法は別途ご案内いたします**

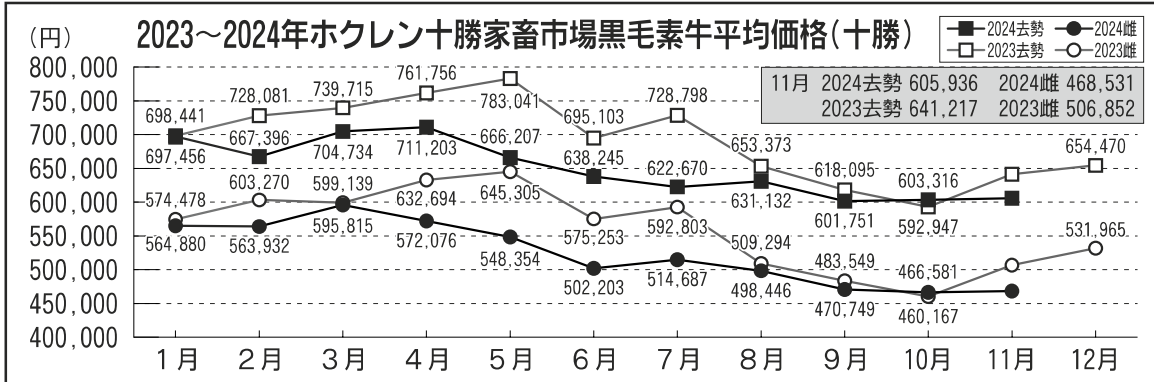


各部の担当者は以下の通りです

管理部 (572-3131) 高	営農部 (572-3135) 松村
信用部 (572-3136) 石丸	農産部 (572-4860) 松坂
畜産部 (572-6500) 米川	購買部 (573-2115) 船田



畜産部通信 畜産部 畜産課



11月黒毛素牛出荷区分別成績

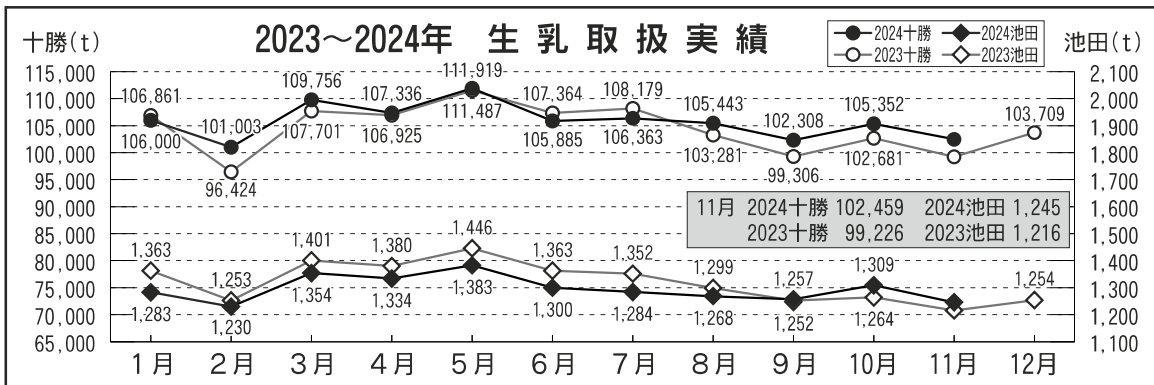
【金額(円)】

去勢	取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
十勝	1,324	605,936	+2,620
池田	57	595,911	-1,300
雌	取引頭数	平均価格(税込)	前月価格比
十勝	1,147	468,531	+1,950
池田	44	483,400	+27,037

11月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	規格	平均単価(税抜)
2日	黒毛去勢	A-5	2,363
		A-4	2,072
		A-3	1,873
9日	黒毛雌	A-5	2,293
		A-4	2,073
16日	F1去勢	B-4	—
		B-3	—
30日	F1雌	B-4	—
		B-3	1,252



11月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
11日	乳牛初妊	589	494,684
	乳牛経産	61	396,433
14日	乳牛育成	578	213,813
26日	乳牛初妊	555	558,963
	乳牛経産	100	390,159

11月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	12,047	-1,222
F1オス初生	83,483	-1,637
F1メス初生	57,857	+13,739
黒毛オス初生	330,904	+11,237
黒毛メス初生	220,795	+16,550
廃用牛	194,258	+2,651

野菜ソムリエ
KAORUの
フルーツ
パラダイス



イラスト：小林裕美子

カリン

冬の健康をサポートする芳香豊かな果実

カリンのプロフィール

- 【分類】バラ科ケヤク属
- 【原産地】中国
- 【おいしい時期(旬)】10～12月ごろ
- 【主な栄養成分】ポリフェノール、ビタミンC、カリウム、食物繊維など

解説：KAORU



選び方

つやと張りがある
明るい黄色
ふっくらとした形
色むらが
ない

ずっしり
している

NG

フレーティーな香りは熟している証拠

- 傷がある
- 穴が開いている→虫食いかも……

保存方法

比較的日持ちする

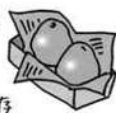


黄色く熟し、少ししゃたつきを感じたら早めに使い切ろう

完熟
常温・冷蔵保存
新聞紙で包みポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室や冷暗所で保存

長期保存
スライスして蜂蜜漬け、果実酒、シロップ漬けなどに

追熟(黄緑色が残っている)
常温保存
新聞紙などで包んで風通しの良い場所で常温保存
数日～2週間ほどで黄色が濃くなる



カリンのいろいろ

安心の国産
山形県、千葉県、神奈川県、山梨県、長野県、奈良県、和歌山県、香川県、愛媛県など
カリンによく似た果実「マレメロ」
表面に産毛が生えている→マレメロ
カリンは皮がつるつる
果肉を食べるジャムはマレメロで作ったもの



カリンのチカラ

古くから健康に良い果実として親しまれてきた

ポリフェノール
細菌やウイルスによる喉の炎症を鎮める働き



カリウム
高血圧予防やむくみ解消に



ビタミンC
免疫カマッパ
風邪予防や疲労回復に
美肌効果にも期待



食物繊維
腸内の有害物質を体外へ排出する働き



食べ方・楽しみ方

果肉は食べず、加工してエキスと香りを楽しむ

蜂蜜漬け
カリン 適量
蜂蜜 カリンが浸るくらい



1、2か月くらいで実を取り出す
冷蔵庫、または冷暗所で保管
時々瓶を揺すって全体にエキスが回るように



パンやヨーグルト、パンケーキ、クッキーにパイやクッキーなどお菓子作りに

カリン酒

カリン 500g
氷砂糖 100g
ホワイトリカー 900ml



半年～1年程度漬け込む
半年ほどで飲める
半年くらいで実を取り出し1年ほど置くとよりまろやかに



注意
種は毒性があるので食べないように!
加熱・アルコール漬け・加糖加工などで毒性は分解される

カリンのヒミツ

歴史
古くから薬用や観賞用などに平安時代
日本に渡来



中国の書物『本草綱目』
生薬「栲樹(かりん)」
酔いさましやたんの除去に効果があると記されている

花言葉
「豊麗」
春に淡いピンク色の美しい花を豊かに咲かせることから





収穫感謝祭で

感じることも、思うことも



(有)石田コンサルティング事務所

代表取締役 石田 邦雄

また新たな年が幕を開けました。令和7年は少しでも安寧で、恵み豊かな年であることを願ってやみませ

ん。
ところで小春日和の去る11月15日、貴JAに向かいました。この日に2024 JA十勝池田町収穫感謝祭があつたからです。向かつた理由は、日頃、職員研修等でお世話になつている者として「JAにとり年に一度の納めとも思える大事なイベントの様子を見てみたい」という思いからでした。本当はもう1日待ち、「イベントの売り物ともいえる翌日の餅まき大会に合わせ」とも考えたのですが、その日は土曜日でもあり混雑する可能性が高く、平日であるこの日が妥当と判断

をし11時過ぎに本所に到着。ある方と別件で軽く打ち合わせをしいざ会場へ。すると想像した以上の混雑ぶり、その人混みに腰がひける私も。まもなく昼食となり、十勝の名だたるソウルフードといわれるインディアンを横目にソバを買い求め、本所の別室で組合長や参事などと一緒に食事をとることに。すると当然ながら感謝祭のことが話題になり、今回、出店をしている御座候と貴JAとのつながりを聞き、日頃から、縁を大切に「と思つている私としては素通りすることができず、加えて商品に対する興味もあり久しぶりに買い物の列に並ぶことになりました。幸いにも午後のひと時で長蛇の列とまではいかずに30

分ほどで購入することができました。「お父さんはおやつ食いだから」と妻によく言われる私は帰宅後に早速試食。おやきはまだ温かくとても美味しく頂戴しました。
ところでこのようなイベントは豊稔の秋に合わせ各地で行われているようで、わがJA十勝池田町は自治体との共催ではなく単独での開催とのことであり、となると企画から始まり実際のお手伝いなど精力的に取り組まれた職員の皆さんは大変、だったと思います。まずはお疲れ様でした。もちろんそれ以上に、気まぐれな天候と闘いながら生産物の収穫に向け、日夜、粒々の辛苦の精神で励まれた組合員の皆さんのおかげと感謝

申し上げます。
さてここから先は別の視点で。私は販売士1級の資格を有し、要望があれば時には「ミステリー・ショッパー（覆面調査）」も行います。そこで顧客の一人としてイベントで気になった点を多少、お話しをします。一つは駐車場の問題です。向かう道すがらそれらしい案内がなく、確か、この土地を知らない人にとっては結構、イライラした人がいたのではないのでしょうか。正直私もそれを探すのに四苦八苦しました。
もう一つ。実は今回そちらに向かった理由の一つに「たまねぎなら欲しいな」と妻から言われたこともあり詰め放題の会場へ。子供心丸出しに「1個でも多く」と懸命に入れてはみたものの持ちきれません。幸い、代車を貸してくれるサービスがあり借りることに。有り難いという思いはあるものの、その代車自体が頑丈で重く、後期高齢者の私にとってはそれを押すことさえ容易ではありません。しか

も駐車場までは結構な距離があり、加えて、もしそれを使い特設テントで果物などを買おうとしようものなら通路が狭く、正直、移動も大変でした。土地の広さなど、何かと制約条件が多い中ではありますが、そうした利用者層や客動線などにも少し配慮があると、より心を満たされた私がいのように思います。以上、今後の何かの参考になれば幸いです。
なお今回、会場を回つてみると、職員の方から「先生」などと気軽に声をかけて頂き、研修にはない嬉しさを感じたものです。また御座候への待ち時間に「テントの中、意外に暖かくてよかつたね」などの声を小耳にはさみ、ここまでの職員各位の努力を改めて感じ、門外漢ながらどこかで誇らしさを感じた私でした。もしかするとこれまでのお付き合ひの中で、身内のような感覚になりつつある自分があるのかもしれないね。
新たな年は共に何かと実り多い年でありませうように。

月間行事予定

行事予定は変更になる場合がございます

月日(曜日)	行事予定
1/10(金)	定期ヨーネ病検査・ワクチン接種巡回 馬市場用ワクチン接種
13(月)	● 成人の日
14(火)	ホクレン乳牛市場、女性部冬季交流会～15日
16(木)	ホクレン育成市場
17(金)	フレミズ講習会
20(月)	青年部農政協研修
21(火)	ホクレンF 1市場
22(水)	ホクレンF 1市場(池田上場日) 女性部冬期生活講座
23(木)	ホクレンF 1市場
24(金)	フレミズ新年会
29(水)	ホクレン乳牛市場、銀河線ブロック青年部冬期研修
2/4(火)	ホクレン和牛市場(池田上場日)
5(水)	ホクレン和牛市場
6(木)	ホクレン和牛市場
10(月)	ホクレン乳牛市場 定期ヨーネ病検査・ワクチン接種巡回



今月の1枚

秋の一斉清掃を実施!

収穫感謝祭で使用したすずらんテープを回収するなど、周辺地域のごみ拾いを行いました。

編

集

後

記

P 4～5にもあります「女性部道外研修旅行」についてです！女性部事務局になり1年と少ししか経っていない私がこの道外研修旅行の引率をさせていただけたこと、本当に嬉しく思います。ありがとうございましたm(_ _)m この旅行を通して、道外の食べ物にもたくさんの十勝産食材が使われていることを知り、十勝の良さを再確認しました！

1か月が経つのは本当に早いですね！12月号の編集後記を書いたのが昨日のこのことです(笑) 組合員の皆様、地域の皆様、職員の皆様、令和6年大変お世話になりました。そしてお疲れさまでした。令和7年、良いお年をお迎えください(▽)/ (長谷川)

理事会の動き

第10回

〈令和6年12月23日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退並びに資格変動について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 令和6年産豆類の集荷状況について
- (4) 令和6年産契約栽培豆類の精算について
- (5) 共計品の精算について
- (6) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (7) 11月末基準仮決算について
- (8) 内部監査報告について
- (9) みのり監査法人期中I監査報告について
- (10) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (11) コンプライアンス事故報告について
- (12) コンプライアンスプログラムの取組状況について
- (13) 理事に対する資金の貸付について

★ 議案 ★

- (1) 組合員の資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (2) 組合員の出資金持分譲渡について
- (3) 自治監査報告書について
- (4) みのり監査法人令和7年度監査報酬について
- (5) 令和6年度北海道肉用牛経営安定対策補完事業による簡易牛舎取得・転貸について
- (6) 部会長設置規程の改正について

★ 協議案 ★

- (1) 令和7年度取り巻く情勢・基本方針(案)について
- (2) 令和7年通常総会までの行事日程について
- (3) 令和7年度固定資産取得計画(案)について
- (4) 冬期地区懇談会の開催について
- (5) 年末組勘整理の見込みについて
- (6) 特定協議者の年末対応について